

4/5 災害対策特別委員会 はが質問 **米坂線の復旧を！**



2022 年 8 月豪雨による米坂線の被害(飯豊町)



小鍵 (こやり) 国土交通省政務官が答弁

地元の皆さんから**米坂線復旧**を強く求める声がある。**国土交通省**として、**復旧が前提**であるところから後退はないということで良いか？

(国土交通省 小鍵(こやり)政務官答弁) まずは、鉄道で復旧の方向で検討するべきものである、という考え方で変わりはない。

国土交通省としても、できる支援をして参りたい

高速道路の「**新直轄方式**」のように**国で支援**し、一部を地方の負担とするように、踏み込んで、さらに検討していただきたい！



国会の「さくらんぼ」に授粉

4/11(木)国会に植えてある「さくらんぼ」の授粉作業に参加。舟山やすえさん、鈴木憲和議員もご出席。今回参議院側のさくらんぼの木が植え替えして間もないため、衆議院側に植えてある木で授粉。品種は「紅秀峰」と「佐藤錦」でした。今年も霜の被害が心配されますが、山形のさくらんぼの豊作を願って、授粉を行いました。



山形県 参議院議員
はが道也

【国会事務所】
〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館 917号
TEL 03-6550-0917
FAX. 03-6551-0917

【山形事務所】
〒990-0825
山形県山形市城北町1-24-15
ダイヤ66城北 2・A
TEL 023-676-5115
FAX. 023-676-5116

【庄内事務所】
〒998-0011
山形県酒田市上安町2-20-34
TEL 090-8252-7140



はが道也事務所 公式サイト <https://www.hagamichiya.com>

X (旧Twitter) Facebook

山形県 参議院議員 はが道也後援会〈会報誌〉

はがみちや タイムズ

発行元：はが道也事務所 〒990-0825 山形県山形市城北町1丁目24-15 ダイヤ66 城北2F・A TEL.023-676-5115 FAX.023-676-5116



2024 年
春号

Vol.29

「独眼竜」で 4 / 1 岸田総理に質問(NHK 中継)

4 月 1 日 (月) 決算委員会で岸田総理や武見厚労大臣、鈴木財務大臣などに質問。NHK 中継されました。

いま**年金生活者は大変**。食料品、生活必需品、そして電気代、燃料代も値上がりして困っている。年金が下がると地域経済にもマイナス。**年金の「マクロ経済スライド」**(年金の引き上げを抑える仕組み)を**凍結**して**年金を増やして**ほしい



年金引き上げに消極的な武見厚労大臣



「できない理由」を並べる鈴木財務大臣

マクロ経済スライドは将来世代の年金の給付水準を確保するために必要な措置。

凍結解除に当たっては、ガソリン・軽油以外の重油・灯油の値下げにつながらない、ガソリンスタンドの負担が大きいなどの課題が解決される必要がある。



クルマ社会の山形では自動車は必需品。ガソリン・軽油の値段が高止まりしていて、日常生活で重い負担。**会計検査院が「ムダ指定」**した補助金の継続ではダメだ。**ガソリン税と軽油引取税の「トリガー条項」凍結解除でガソリン・軽油価格の引き下げを！**

岸田総理は物価の上昇以上の賃上げが出来たと言うが、「**地方**」の**中小企業**は本当に給料が上がらない！特に、公的な収入しかない**医療、福祉、介護**では**待遇改善**が全然行われない！

(武見厚労大臣の形通りの答弁) 今回の令和 6 年度診療報酬改定の中で物価高騰への対応も含め必要な措置を講じておりまして、物価に負けない賃上げに向けてしっかりと取り組んでまいります。

(芳賀質問) **政治倫理審査会**での**自民党議員の答弁**ぶりも、**二階前幹事長**の記者会見も**子どもの教育に悪い**と思いませんか？



党として行っている聞き取り調査のさなかにおいて、それを評価することは適切ではない。会見の発言 1 つ 1 つを切り取って申し上げることはさし控える。

「塩答弁」の岸田総理

山形県内 病院・老健 2024年春闘 賃金回答 3/13現在

労組	除外	回答額	うち定額	アップ	率	昨年比	昨年比(%)	評価点
A	県・市	5,060円	4,546円	514円	2.02%	±	0n	-0.01% 未回答
B	県・市	5,300円	4,633円	667円	2.09%	±	0n	+0.01% 未回答
C	県・市	10,512円	10,512円	0円	4.08%	±	3,634n	+1.38% 未回答
D	県・市	4,548円	4,548円	0円	1.81%	-	132n	±0.00% 未回答
E	県・市	4,585円	4,585円	0円	1.74%	-	235n	-0.12% 未回答
F	県・市	3,896円	3,896円	0円	1.35%	-	314n	-0.13% 未回答
G	県・市	4,358円	4,358円	0円	1.64%	-	468n	-0.19% 未回答
H	全職員	8,777円	4,000円	200円	4.91%	+	4,777n	+2.99% 4,577円 2.38%
I	県・市	4,000円	4,000円	0円	1.96%	-	64n	-0.07% 未回答
平均		5,670円			2.40%	+	800n	+0.43%

↑ 東京の大企業などと違い、山形県内の病院や老人保健施設では「5%の賃上げ」はムリ

このままでは都会に住む人だけ得する政策ばかり

4/1 はが質問 ますます「地方」に人がいなくなる！

東京都では所得制限なしの毎月 5000 円補助や高校無償化など子育て・教育支援が始まっている。「地方」でも同じ少子化対策を進めないと、益々大都市に子育て世代が集中して、その結果、韓国のように出生率がさらに下がるリスクがある。国として東京都なみの少子化対策を進めるべきだ！



少子化対策は待たなしの瀬戸際にあると考えたからこそ、3.6兆円規模に及ぶ前例のない規模で子ども・子育て支援を強化する

↑ 岸田総理の答弁は芳賀の質問の答えになっていません。右の図のような思い切った出産・子育て・教育支援を通じて、東京都が少子化対策を進めているのに、「地方」の少子化対策のんびりしたものなら、当然若い世代は「地方都市」「農村」を離れて東京などの大都会へ移ってしまいます。



東京都庁 出産・子育て・教育の経済的支援 2024年度	
● 妊娠期	5万円相当 出産応援ギフト
● 出産	10万円経済支援(5万円子育て応援ギフト+都の支援)
● 0-2歳	第二子保育料 無償化(所得制限なし)
● 0-18歳	1人に毎月5000円(所得制限なし)
● 小中学生	給食費補助(最大半額補助、特別支援学校などは無償化)
● 高校生	医療費 無償化(23区内は所得制限なし) 通院時の自己負担が200円以内
	授業料 実質無償化(所得制限なし)

2024年度の東京都による出産・子育て・教育支援

4/1 はが質問 電気代に上乗せの再エネ賦課金を 当分凍結すべし！ 岸田総理に要望

電気代が値上がりして、家庭も工場も商店も本当に大変という声を多くの方から聞いている。岸田総理も「何とか電気料金を下げなければいけない」と思っているのか？



電力料金等についても、価格高騰が国民生活に影響を与えている。そう認識しているからこそ、政府としても激変緩和措置を講じているところだ。

再エネ賦課金は、「カーボンニュートラル」という大きな目的の実現に向け重要。それとは別に、政府として電気料金の高騰等については激変緩和措置を用意している。



再エネ賦課金の値上げだけでなく、当分の間凍結して、電気料金を下げようという法案を提出。この法案に賛成していただけないか？ 電気代値上がりに苦しむ庶民や工場経営者などに必要！

(芳賀指摘) 一方で下げて、一方で上げる。何とも支離滅裂！



長年の懸案だった踏切拡幅 実現へ！ 新庄市 下西山踏切・太田踏切

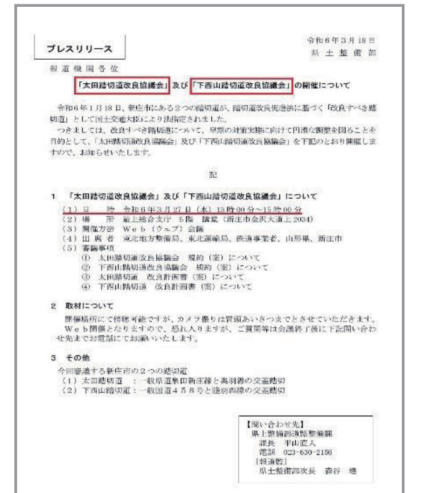


通学路なのに、歩道が踏切で切れてしまっている

新庄市では、通学路となっているにもかかわらず、危険な踏切「下西山踏切」と「太田踏切」があります。子どもたちの交通安全のために、地元の皆さんが踏切拡幅を重ねて要望してこられました。昨年 2023 年 8 月には地元の皆さんのご案内のもと「下西山踏切」の現地を視察し、踏切に歩道がなく通学路として危険なことを実感。昨年 9 月には仙台の JR 東日本東北本部で踏切拡幅工事を要望。「あったかい県政」の吉村知事も、新庄市の山科市長も、JR 東日本と協力してこの問題に対応して下さい、3 月 27 日には「踏切改良協議会」が開催され、実務レベルでの協議が本格的に始まりました。

長年活動されてこられた新庄市の地域の皆さん、地元でこの問題に取り組んでこられた新庄市議の田中功市議、伊藤健一市議などに深く敬意を表するとともに、山形県議会で吉村知事に橋渡しをして下さった石川正志県議に御礼を申し上げます。

二〇二三年九月 JR 東北本部に要望



地元・山形の要望 実現に向け一歩 大型車両の通行許可 時間延長の試行



工事用クレーンを運ぶ大型トレーラー 特別な通行許可が必要

3/29 (金) 国土交通省は、夜間のみ通行が認められていた大型車両について、朝 6 時台、夜 20 時台の運行を認めるなど、通行時間帯や条件について規制緩和を 4 月から試行することを発表しました。

これは一昨年 2022 年の 5 月 9 日、決算委員会で芳賀が斉藤国交大臣に要望した内容です。地元運送会社の方や、大型車両の通行の許認可を担当とされる行政書士の先生からご要望を頂いて、質問いたしました。現状では夜しか認められていない大型車両の通行ですが、地元の声を受けて、むしろ夜の運転の方が危険な例もあるので、昼間の運行許可も出してほしいと要望していました。

